

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 11月

福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 藤森敬也

■ 研究課題名

*BRCA1/2*生殖細胞系列病的バリエント保持者の卵巣癌における臨床病理学的検討

■ 研究期間

2023年11月 ～ 2026年12月

■ 研究の目的・意義

遺伝性乳がん卵巣がん (hereditary breast and ovarian cancer: HBOC) は、*BRCA1* あるいは *BRCA2* (*BRCA1/2*)という誰もがもつ遺伝子に、生まれつき変化した状態（病的バリエント）がある方が、その遺伝子に病的バリエントがない方と比べると、乳がん、卵巣がん、前立腺がん、膵がんを発症しやすい体質であることを意味します。両親のうちどちらかが *BRCA1* あるいは *BRCA2* 遺伝子に病的バリエントを持っていると、子供に 1/2 の確率で遺伝します。この遺伝様式を常染色体顕性（優性）遺伝と呼びます。HBOCの方が発症した卵巣癌について臨床病理学的にどのような特徴があるかについて明らかにすることで、卵巣がんの患者さんに対して、適切に *BRCA* 遺伝学的検査を提供できることになり、さらにがんを発症していない血縁者の方を診断でき、がん発症を未然に防ぐことも可能となります。また、患者様のゲノム情報を明らかにすることで治療成績の向上につながることが期待されます。

■ 研究対象となる方

2019年6月から2023年9月までの期間に福島県立医科大学附属病院で卵巣癌の治療を受け、ゲノム検査（*BRCA1/2* 遺伝子検査、がん遺伝子パネル検査、HRD 検査）を受けた18歳以上の患者様が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、がんの家族歴、臨床進行期、病理組織検査、ゲノム情報（*BRCA1/2* 遺伝子検査、がん遺伝子パネル検査、HRD 検査）などの臨床病理学的因子、治療後

どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2023年12月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学産科婦人科学講座であり、研究責任者は産科婦人科学講座 藤森敬也です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学産科婦人科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

ありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学産科婦人科学講座 担当：遠藤雄大

電話：024-547-1290 FAX：024-548-3878

e-mail：yenyen@fmu.ac.jp

本研究では遺伝に関連する情報が含まれます。もし遺伝に関して不安になり相談したい場合には、臨床遺伝専門医あるいは認定遺伝カウンセラーが対応しますので、下記までご連絡下さい。

問い合わせ先

〒960-1295 福島市光が丘1番地

福島県立医科大学附属病院 遺伝診療部

電話：024-547-1108